

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
盛岡市	盛岡市	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成 年度)		目標 (割合※1) (平成 年度) A		実績 (割合※1) (平成 年度) B		実績B /目標A
		t	(%)	t	(%)	t	(%)	
排出量	事業系 総排出量	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%
	1事業所当たりの排出量	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%
	家庭系 総排出量	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%
	1事業所当たりの排出量	kg/人	(%)	kg/人	(%)	kg/人	(%)	%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%
再生利用量	直接資源化量	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%
	総資源化量	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh		MWh		MWh		
減量化量	中間処理による減量化量	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%
最終処分量	埋立最終処分量	t	(%)	t	(%)	t	(%)	%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 21 年度)	目 標 (平成 27 年度) A	実 績 (平成 27 年度) B	実績B /目標A	
総人口	292,964	287,787	292,980	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	242,704	244,596	251,299	102.7%
	汚水衛生処理率	82.8 %	85.0 %	85.8 %	100.9%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	8,255	9,743	6,454	66.2%
	汚水衛生処理率	2.8 %	3.4 %	2.2 %	64.7%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	16,038	15,783	13,562	85.9%
	汚水衛生処理率	5.5 %	5.5 %	4.6 %	83.6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	25,967	17,665	21,665	※ ¹ 51.9%

※¹達成率の算定は実績B/Aではなく、別の算定方法による。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制, 再使用の 推進に関 するもの						
処理体制 の構築, 変更に関 するもの						
処理施設の 整備に関す るもの		浄化槽設置整備事業		地域の公共下水道事業計画区域及び農業集落排水事業区域を除く区域、また、下水道の整備が当分の間見込まれない下水道基本計画区域内（認可区域外）の住宅を対象として、設置の費用を助成する。	(H23～H27)	平成23年度 : 24 基 平成24年度 : 25 基 平成25年度 : 22 基 平成26年度 : 21 基 平成27年度 : 35 基 合 計 : 127 基
		浄化槽市町村整備推進事業		旧玉山区の公共下水道事業計画区域及び農業集落排水事業区域を除く区域を対象として、市が個人の住宅に浄化槽を設置する。	(H23～H27)	平成23年度 : 19 基 平成24年度 : 11 基 平成25年度 : 17 基 平成26年度 : 15 基 平成27年度 : 12 基 合 計 : 74 基
施設整備 に係る計 画支援に 関するも の						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

浄化槽設置整備事業における浄化槽設置基数については、概ね計画どおりの整備ができた（計画：128基，実績：127基）。
浄化槽市町村整備推進事業における浄化槽設置基数については、概ね計画どおりの整備ができた（計画：85基，実績：74基）。
しかしながら、若干、計画を下回った要因としては、高齢化社会の進展や経済情勢の悪化を要因とした、市民の水洗化意欲の減退が考えられる。
今後も引き続き地域の特性を十分に踏まえながら、効率的かつ効果的な生活排水処理施設の整備を図るため、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業などに取り組み、公共用水域の保全と市民の生活環境向上に努めたい。

(都道府県知事の所見)

合併浄化槽の普及実績については、経済情勢悪化等により平成27年度目標値を若干ながら下回ったものの汚水処理人口普及率は着実に増加している。よって本計画による施策が浄化槽の普及促進に寄与したことが認められる。
盛岡市では既に新規計画（平成28年度～平成32年度）を策定したところであり、今後も引続き循環型社会形成推進交付金等を活用しながら浄化槽の更なる普及に努めたい。
県においても、その手法等必要に応じて支援していくこととしたい。